

# 事業報告書

(自2022年4月1日至2023年3月31日)

## 1. 事業の概要

### (1) 2022年度の事業概況

第14期の2022年度は、事業として大学講座寄付6件、実施金額86,500千円と、奨学金支給186名、実施金額40,940千円余、学術・研究助成19件、実施金額30,980千円の、総額158,420千円余の助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	6件	86,500千円
(ロ) 奨学金支給	186名	40,940千円余
(ハ) 学術・研究助成	19件	30,980千円
合 計		158,420千円余

### (2) 2022年度収支決算

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業(株)から160,919千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金919千円余を含む)、住友電設(株)から70千円余、スミセツテクノ株式会社から5千円(いずれもカフェテリアプランを通じた寄附金)の計160,995千円余の寄付を受けました。これに基本財産運用収入11,099千円余を加え、収入合計は予算対比2,093千円余増の172,094千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出はほぼ当初計画通りに実施しましたが、海外奨学金の為替変動及びカフェテリアプランを通じた寄付金994千円の支出増などから、予算対比1,520千円余増の159,940千円余となりました。

管理費支出は、新型コロナウイルスの感染拡大により贈呈式典や奨学生の面接・交流会をオンライン開催としたことから、会議費、旅費交通費が減少しました。

管理費合計では予算対比2,153千円余減の14,711千円余となり、事業活動支出合計は予算対比632千円余減の174,652千円余となりました。

投資活動収支については、国債の満期償還による収入500,000千円を20年利付国債(額面500,000千円、購入高499,850千円余)への再投資に充当した結果、投資活動収支差額は予算対比150千円余のプラスとなりました。

以上の結果、当期収支差額は2,407千円余の赤字となり、前期繰越収支差額13,393千円余を加えた10,985千円余を次期に繰り越す予定です。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,000千円で変動ございません。

### (3) 2022年度事業

2022年3月10日開催の第64回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

#### (イ) 大学講座寄付

エネルギー・新素材・情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）をはじめとする最新テクノロジー探求、地球環境の保全、高齢化・介護社会、経済のグローバル化等現代の諸問題解決にむけた研究、ものづくりや起業家（アントレプレナー）をはじめとした次世代を担う人材の育成に取り組み、社会的課題の解決と経済発展の両立に資することを探求する大学講座に対し寄付を行うもので、継続案件3件に加え、新規の大学講座3件を選考し、合計6件、総額86,500千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額（千円）
愛媛大学 大学院理工学研究科	生態学的アプローチによる東南アジアの蚊媒介感染症の制御	15,000
名古屋大学 未来社会創造機構 ナノライフシステム研究所	難治性がん根治に向けた量子ナノがん光免疫療法（QPIT）の開発と臨床応用	20,000
名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野	超分子医薬による肝線維症に対する先制医療の実現	20,000
※京都大学 大学院工学研究科 都市環境工学専攻	グローバル統合評価モデルを用いたゼロエミッション達成のための革新的技術の評価	10,000
※筑波大学 生命環境系	ダークマター微生物開拓・利用・基盤創成工学講座	10,750
※奈良女子大学 研究院工学系	次世代生体情報によるヒト・モノ共生型支援システムを創造する女性エンジニアの養成	10,750
合 計		86,500

※新規案件

## (ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、国内学生及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野において研鑽に努め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、2022年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

	奨学生	実施額(千円)	実施時期		
国内大学の 外国人留学生 [10万円/月]	継続 8名 東北大1、一橋大1、東京大1、 東京工業大1、早稲田大1、名古屋大1、 京都大1、大阪大1	7,800* *9月卒業により3名 が期中で支給終了	2022年4月～ 2023年3月		
	新規 9名 東北大1、一橋大1、東京大1、東京工業大1、 早稲田大1、慶應大1、名古屋大1、 京都大1、大阪大1	10,800	2022年4月～ 2023年3月		
	計 17名	18,600			
国内大学の国内 学生(修士課程) [3万円/月]	継続 15名 東京大1、東京工業大1、静岡大1 早稲田大1、慶應大1、東京理科大1、京都大1、 大阪大1、神戸大1、名古屋大1、岡山大1、 広島大1、九州大1、同志社大1、立命館大1	5,400	2022年4月～ 2023年3月		
	新規 19名 北海道大1、山形大1、筑波大1、東京大1、 東京工業大1、静岡大1、早稲田大1、慶應大1、 東京理科大1、京都大1、大阪大1、神戸大1、 名古屋大1、岡山大1、広島大1、九州大1、 関西大1、同志社大1、立命館大1	6,840	2022年4月～ 2023年3月		
	計 34名	12,240			
国内大学の国内 学生(学士課程) [3万円/月]	2020年編入学(東京大は3年間履修) 明石高専(東京大学)1	360	2022年4月～ 2023年3月		
	2021年編入学 奈良高専(大阪大学)1、明石高専(大阪大学)1 豊田高専(名古屋大学)1	1,080	2022年4月～ 2023年3月		
	2022年編入学 奈良高専(東北大学)	360	2022年4月～ 2023年3月		
	計 5名	1,800			
海外大学の 現地学生 [約5千円/月]	中国	蘇州大学	20名	1,229	2023年2月
		武漢理工大学	10名	598	2022年8月
		上海外国語大学	10名	626	2022年11月
	タイ	泰日工業大学	20名	1,234	2022年8月
		キングモンクット 工科大学	20名	1,393	2022年11月
	ベトナム	ハノイ工科大学	20名	1,166	2023年3月
	メキシコ	アグアスカリエンテス 工科大学	10名	684	2023年2月
	メキシコ	アグアスカリエンテス 自治大学	20名	※1,368	2023年2月
	計	130名	8,298		
合計	186名	約40,940			

※受入先大学の口座変更により21年度分が送金できず、2023年2月に2年分を合算して送金

(ハ) 学術・研究助成

自然科学・工学や社会科学の先進的、独創的な研究、資源・エネルギーの確保、地球環境保護、世界人口の増加と水食料不足、長寿高齢化社会の到来、経済格差の拡大等、現代の重要課題の解決に向けたテーマを対象としています。2022年度は、応募総数95件の中から選考の結果、19件、総額30,980千円の助成を行いました。

(敬称略、所属は申請当時)

氏名	所属	役職	研究テーマ	助成金額 (千円)
小尾 正太郎	獨協医科大学	准教授	機械的刺激による心臓線維化制御機構の解明	1,440
北嶋 康雄	広島大学	助教	健康長寿社会の実現に向けた骨格筋量調節機構の解明	1,450
木寺 正平	電気通信大学	准教授	多重散乱波と超高分解能画像化を統合した見通し外領域ミリ波センシングの研究	2,000
熊田 佳菜子	東北大学	助教	空気によって進行する効率のかつ環境調和的な機能性化合物骨格構築法の開発	1,600
佐藤 弘志	理化学研究所	ユニットリーダー	近赤外光で駆動する多孔性結晶リアクターの創製	1,600
塩谷 和基	立命館大学	助教	感覚情報と適切な行動を結びつける文脈情報の統合神経メカニズムの解明	2,000
須田 理行	京都大学	准教授	“スピン”の制御による革新的水電解触媒の開発	2,000
清 雄一	電気通信大学	准教授	社会課題解決に向けたパーソナルデータ活用機械学習モデルとプライバシー	1,600
田辺 克明	京都大学	准教授	機能性半導体接合技術による超高効率太陽電池	1,440
富岡 洋一	会津大学	上級准教授	解除困難なディープフェイクプロテクト信号の開発	1,000
豊島 遼	慶應義塾大学	助教	X線オパールキネティクス解析に基づく二酸化炭素光還元触媒の機能解明と高度化	1,440
中村 紗都子	名古屋大学	YLC教員、特任助教	宇宙天気災害時の日本電力ネットワーク脆弱性の数値評価	2,000
灘野 大太	名古屋大学	准教授	食肉の肉質決定因子が形成するゲノムワイド機能ネットワークの解明	740
林 宏暢	奈良先端科学技術大学院大学	助教	可溶性2次元有機ナノシートのボトムアップ合成	2,000
阪東 勇輝	浜松医科大学	助教	小胞体膜電位による神経機能制御機構	1,600
藤田 晃司	京都大学	教授	層状化合物が拓く強誘電体物質科学の新展開	2,000
堀内 新之介	東京大学	講師	分子間相互作用に基づく新奇細孔性材料の創出	2,000
吉留 崇	東北大学	助教	生体分子ダイナミクスの高解像度解析を実現する「4次元イメージング法」の確立	1,630
吉見 昭秀	国立研究開発法人国立がん研究センター	独立ユニット長	がん選択的核酸医薬療法の創出	1,440

2. 役員・評議員（2023年3月31日現在）

役名	氏名	主たる職業
理事長	井上 治	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	中田 将稔	住友電気工業株式会社 常務執行役員
理事	漆畑 憲一	住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長
	清水 和志	住友理工株式会社 代表取締役執行役員社長
監事	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 名誉院長
	吉川 弘之	東京国際工科大学 学長 大阪国際工科大学 学長
	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
評議員	小林 伸行	住友電気工業株式会社 常務取締役
	池田 育嗣	住友ゴム工業株式会社 取締役会長
	齋藤 成雄	日新電機株式会社 代表取締役会長
	坂崎 全男	住友電設株式会社 代表取締役会長
	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
	松本 正義	住友電気工業株式会社 取締役会長
	村田 治	関西学院大学 経済学部教授
	森谷 守	株式会社テクノアソシエ 代表取締役社長

### 3. 主要な事業経過

2022年	6月1日	第65回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・第13期定時評議員会招集の件</li><li>・第13期定時評議員会付議事項の件</li></ul>
	6月9日	第66回理事会開催（会議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2021年度（第13期）事業報告及び計算書類等承認の件</li></ul> 第13期定時評議員会開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・理事2名選任の件</li><li>・評議員2名選任の件</li></ul>
		第67回理事会開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・役付役員選任の件</li><li>・2022年度事業（奨学金支給）実施の件</li><li>・2022年度選考委員選任の件</li></ul>
	6月29日	第13期臨時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2021年度（第13期）事業報告及び計算書類等承認の件</li></ul>
	7月13日	第1回選考委員会開催（会議） <ul style="list-style-type: none"><li>・申請書類閲覧及び選考方法確認の件</li></ul>
	9月3日	第68回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度選考委員選任の件</li></ul>
	9月29日	第2回選考委員会開催（会議） <ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度大学講座寄付先選考の件</li><li>・2022年度学術・研究助成先選考の件</li></ul>
	10月18日	第69回理事会開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度 大学講座寄付の対象者並びに寄付金額決定の件</li><li>・2022年度 学術・研究助成の対象者並びに助成金額決定の件</li><li>・2023年度 国内学生向け奨学金（高専推薦）対象者決定の件</li></ul>
2023年	3月9日	第70回理事会開催 <ul style="list-style-type: none"><li>・2023年度事業計画及び同収支予算承認の件</li><li>・2023年度事業（奨学金支給）実施の件</li></ul>
	6月1日	第71回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none"><li>・第14期定時評議員会招集の件</li><li>・第14期定時評議員会付議事項の件</li></ul>

#### 4. 附属明細書について

2022 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。